



# 沼津市 農業委員会だより

第148号  
発行日 2024.6.15

NUMAZU Agricultural committee NEWS



▲大平で玉ねぎの収穫をする石井隆さん

## 次世代への架け橋へ

大平在住の石井隆(42歳)さんは水稻の栽培は5年目、玉ねぎの栽培は3年目の兼業農家です。

写真の玉ねぎの圃場はもともとトラクターなどの機械を練習する場として借りていました。そのため作物を栽培していない土地でしたが、そこで耕作をしてみないかと声を掛けられ、米と時期の被りが少なく、まわりに玉ねぎを栽培する農家さんが多かったことから、玉ねぎの栽培を始めたそうです。

兼業農家である石井さんは「大平で農業を始めてよかった」と話します。「農業全般において諸先輩方からの指導や、気遣いをうけ、助けてもらいながら農業をしている。仲間や先輩のおかげで農業ができています。大平の農業を守っていくために、ゆくゆくは次の世代へ自分が教えたり助けたりできるようになりたい。」とつづけました。

石井さんの育てた玉ねぎは甘みがあり、身のしまりがよいため、採れたてを生でスライスにして食べるのが一番おいしいとのこと。皆様も新鮮な玉ねぎを食べる際は炒め物やスープはもちろん生で召し上がってみてはいかがでしょうか。



## 高校生の「沼津ねがた白ねぎメニューコンテスト」の表彰式が開催されました



令和6年3月28日(木)、沼津市役所にて、高校生の「沼津ねがた白ねぎメニューコンテスト」の表彰式が開催されました。

コンテストには60作品の応募があり、1次書類審査、2次調理審査を経て、3つの入賞作品が選ばれました。結果は次の通りです。グランプリ:沼津中央高等学校「ねがたネギ巻きチャーシュー」、準グランプリ:沼津中央高等学校「ねがた白ネギのケーキ・サレ」、審査員特別賞:沼津西高等学校「白ねぎのキッシュ」。表彰式では、市長より受賞者へ賞状及び副賞が授与されました。

式の後には、全員で各メニューを試食し、沼津ねがた白ねぎの美味しさを再認識するとともに、各チームのメニューに感心していました。

## 新茶の手摘み体験が開催されました



令和6年4月20日(土)、根古屋の茶園にて、「新茶手摘み体験」が開催されました。

会場では、手摘みの体験のほか、新茶の呈茶、お茶の天ぷら、お茶のホットケーキが振舞われ、約100名の参加者で賑わいました。

参加者のアンケートからは、「お茶の美味しさを再認識した。家でも沼津茶を飲みたいと思った。すごく楽しかった。」と、沼津茶を楽しんでいた様子が伺えました。



## 農作業安全確認について

令和4年の全国の農作業中の死亡者数は前年より4人減少し 238 人でした。前年より減少したものの、依然として高い水準にあり、特に、65 歳以上の高齢者が 86%を占めていました。

農作業事故の多くが、単純なミスによるものであり、十分注意することで防ぐことができます。基本的な注意事項を確認し、事故の原因を一つ一つ取り除き、農作業事故ゼロを目指しましょう。

また、近年の温暖化の影響により、農作業死亡事故における熱中症による死亡者の割合は増加傾向にあります。できる限り高温時の作業は避け、熱中症対策アイテムを活用するなど熱中症の予防に努めましょう。

なお、鳥獣被害対策に電気柵を設置している場合は、以下の①～④をもう一度確認しましょう。

- ①見えやすい場所への危険表示
- ②電気柵用の電源装置の使用
- ③30V以上の電源を使用する場合等における漏電遮断器の設置
- ④容易に開閉できる場所への専用のスイッチの設置

### 【チェック・ポイント】

- 1 安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用しましょう。
- 2 農作業機付き農耕トラクタで公道走行する際には灯火器類の設置をしましょう。
- 3 シートベルト・ヘルメットを着用しましょう。
- 4 農業機械の管理・利用は、適切に行いましょう
- 5 適度な休息を取りましょう

## スマート農業技術の導入を支援します

### 事業概要

本市農業における農業生産性の向上、農業経営の安定と効率化及び農業者の担い手確保を図るため、スマート農業技術の導入に係る費用に対し、補助金を交付します。

### 補助の内容

対象者：本市に住民登録がある農業者等 かつ

経営耕地面積が10a以上の方

または前年の農産物販売額が15万円以上の方

対象経費：農林水産省による「スマート農業技術カタログ」に掲載されている技術等の導入に要する経費、その他市長が認めるもの

補助率等：補助率 1/2 ・ 上限額 50万円

※令和6年度の予算がなくなり次第締め切り

※詳細はお問い合わせください

問い合わせ先 沼津市農林農地課農林振興係 055-934-4751

## 環境への負荷を軽減する農業を支援します

### 事業概要

農業の生産性の向上を図りつつ、環境への負荷を軽減した農業を推進することにより、地球環境の保全に貢献するとともに、持続可能な農業を目指すことを目的として、生分解性プラスチックを利用した農業資材や有機質肥料を使用した認定農業者に対し、補助金を交付します。

### 補助の内容

対象者：本市に住民登録がある認定農業者

※その他の要件についてはお問い合わせください

対象経費：①農業資材（※1）の購入に係る経費

②有機質肥料の購入に係る経費

（※1）生分解性マルチフィルム、生分解性ポット及び生分解性ロープ等

補助率等：補助率 ①、②ともに 2/3

上限額 ①5万円、②1万円

※令和6年度の予算がなくなり次第締め切り

※詳細はお問い合わせください

問い合わせ先 沼津市農林農地課農林振興係 055-934-4751

## 人手不足でお困りの農家の方、農業の求人募集をしませんか？

人手不足でお困りの農家の方、農業の求人募集をしませんか？

JAふじ伊豆では、無料職業紹介所を開設し、農業労働力に対する雇用の斡旋を行っています。



- 求人の流れ
- ①雇用労働力を希望する農家（求人者）より求人票をご記入いただきます
  - ②JAが求人サイト等を利用して、求職者を募集します
  - ③JAが求人者の条件に合う求職者を紹介します

問い合わせ JAふじ伊豆 なんすん営農経済センター 地区営農課  
沼津市下香貫字上障子 415-1 055-931-3132

## 農業者年金の現況届の提出はお済みですか？

現況届は、年金受給者の皆様の受給資格を確認するものです。この届が提出されないと、受給が停止される場合もありますので、今一度ご確認ください。

【提出期限】6月28日(金) 【提出先】農業委員会事務局又はお近くの市民窓口事務所

※お問い合わせ 農業委員会事務局（農林農地課内） 055-934-4757